

# 文化遺産保護と 経済開発協力の 有機的連携を 目指して

「人間の安全保障」アプローチの可能性



文化遺産国際協力コンソーシアム 第9回研究会

会場：大阪大学 中之島センター 佐治敬三ホール

2011年7月11日(月) 13:30 ~ 17:00

主催：文化遺産国際協力コンソーシアム 共催：大阪大学大学院国際公共政策研究科 / 国立民族学博物館

## 開催趣旨

文化遺産国際協力コンソーシアムではこれまで、経済開発協力連携ワーキンググループを中心に、開発途上国に所在する文化遺産の保護のための国際協力と、これらの国々に対する経済開発協力との連携の可能性について検討してまいりました。文化遺産保護に向けた国際協力と開発のための経済協力の二つのベクトルは、現場では互いに交わらず、時にはぶつかりあう事例さえみられました。そこには両者の専門家のコミュニケーション不足や、両者をつなぐ共通の理念の不在という問題があると考えられます。

そこで今回の研究会では、文化遺産国際協力と経済開発協力を結びつける理念として、「人間の安全保障」に着目して議論します。これまで「人間の安全保障」は、日本の政府開発援助（ODA）を実施する際の重要な理念となっていますが、文化に関わる経済協力事業の文脈で用いられることはあまりありませんでした。一方、文化遺産の保護という観点と「人間の安全保障」理念とが結び付けられて議論されてきたこともほとんどなかったと言ってよいでしょう。したがって、本研究会では、途上国を対象とした経済協力に関する議論にとどまらず、人間の尊厳の保護を重視する「人間の安全保障」の考え方を新たに導入し、両者の有機的な連携を進めるための方策を模索していきます。

## 主なプログラム（詳細は下記 Web サイトをご覧ください）

13:40 ~ 14:05 「人間の安全保障の視点から見た文化遺産保護」 星野俊也（大阪大学大学院国際公共政策研究科 研究科長）

14:05 ~ 14:30 「文化遺産保護と村落開発」 関雄二（国立民族学博物館 教授）

14:30 ~ 14:45 休憩

14:45 ~ 15:10 「経済協力と文化遺産～大エジプト博物館保存修復センターに対する技術協力プロジェクトを事例として～」  
林宏之（国際協力機構（JICA）経済基盤開発部 都市・地域開発第一課）

15:10 ~ 15:35 「文化遺産と日本の政府開発援助（ODA）～人間の安全保障の視点も交えて～」 植野篤志（外務省国際協力局 政策課長）

15:35 ~ 16:50 討論・質疑応答（司会：鈴木紀 国立民族学博物館 准教授）

※ 研究会終了後、懇親会を予定しております。

## 参加申込

講演会参加をご希望の方は、2011年7月7日(木)までに以下のコンソーシアムウェブサイト申込フォームからお申し込みください。

<https://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>

\* 懇親会に参加される場合は当日受付にて会費 1,000 円をいただきます。

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43 Tel 03-3823-4841 / Fax 03-3823-4027

E-mail [consortium@tobunken.go.jp](mailto:consortium@tobunken.go.jp) URL <http://www.jcic-heritage.jp>

